

まちかどネットワーク



一人一人に合った就労支援を

メタゲーム富士

事業所です。

今は、15人近くの利用者が一人のペースやスキルに合わせた支援計画のもと、一般企業への就労に向けて、スキルを身につけながら訓練を行っています。

利用者の一人は、すでに昨年10月、一般就労にステップアップを果たし、事業所を卒業しました。「送迎サービスを利用せずに公共交通機関の利用方法や時間調整を学び、一人で外出ができるようになりました」と話します。ほかにも、eスポーツを用いた就労訓練を重ねて、初対面の人とも積極的にコミュニケーションが取れるようになり、チームではリーダーシップを発揮する姿が見られたそうです。

3月からメタゲーム富士を利用している千原大介さん・悦子さん夫妻は、「今までの就労支援のイメージとは少し違う印象を受け、自分たちにはこの形が合うのではないか」と思い、利用し始めました。ただゲームをするのではなく、目標を立てたり、座学を受けたりしています。施設の職員の皆さんやほかの利用者さんと



▲訓練を行う利用者の皆さん

コミュニケーションを取りながら、自分の役割を見つけ、チームで協力して物事をやり遂げるという、仕事の根幹を学ぶことができます。仕事につながると



▲座学を受ける利用者の様子

「働きたい」をかなえたい

職員の青島いづみさんにお話を伺うと「日を追うごとに、利用者の明るい声や表情が見られるようになったり、自分から声をかけることができるようになった姿を見たりすると、とてもうれしく感じます」と教えてくれました。

責任者の池田和弘さんは「今後、eスポーツのプレーヤーや動画編集の作業などに固定するのではなく、地域での大会やイベントの一つとして提案して、運営やスケジュール管理、司会、実況などを利用者に任せることで、就労の幅や選択肢を広げていきたいと考えています」と話します。

特色のある様々な事業所があり、それぞれに合った就労支援の形があること、皆さんご存じでしたか。



▲詳しくはこちら